

自動車部品製造業のDXセミナー

2024年 ① 5月20日(月) ② 5月27日(月) ③ 5月30日(木)

オンライン開催 ● 講座内容はすべて同じです。ご都合のよい日時をおひとつお選びください。
● お申込み期日はいずれも開催日の4日前になります。
● 各日ともログイン開始 12:30 より
(13:00 ~ 15:00) ※本講座はオンライン受講となっております。諸事情により受講いただけない場合がございます。ご了承ください。
※セミナーご参加方法の詳細は「船井総研 Web 参加」で検索。

このような自動車部品製造業の皆様のご参加をお待ちしております

- ✓ 従業員200名以下の自動車部品製造業の事業主の方
- ✓ 紙日報による手書き・集計作業が常態化してしまっており、データ集計が細かく実施できていない事業主の方
- ✓ 標準原価で収益を把握しているが、それが実態と合っているか不明であると感じている事業主の方
- ✓ 現状のシステムをフル活用できず、製造進捗をリアルタイムに把握できていない事業主の方
- ✓ 製品別の「実際工数」による直接労務費を算出し、正確な個別原価を把握したいと思っている事業主の方
- ✓ 以前原価管理を取り組んだが、なかなかうまくいわずに苦戦している事業主の方
- ✓ DX経営の第一歩である「BI」について、自社でも取り入れたいと感じている事業主の方
- ✓ 今までの勘・経験から脱却した、今取り組めるDXを知りたい事業主の方

講座内容

第1
講座

ゲスト講座

社長が知っておくべき同業他社の原価改善取り組み事例

<滋賀県> 従業員170名の会社の現場の紙運用を廃止! BI活用によるリアルタイム分析DX!
<岐阜県> 従業員30名のRFIDによる製造工数自動集計・リアルタイム分析!
<愛知県> 従業員100名の自動車部品加工会社が既存のシステムをフル活用して原価管理を実践!

第2
講座

材料費高騰対策! 儲けの改善の仕組み導入成功編

- 製造業における生産管理・原価管理業務の課題
- 生産管理・原価管理システムの導入失敗例
- 成功する生産管理・原価管理システムの業務改善手順と成功する具体的導入プロセス
- 個別製品原価、得意先別製品原価、工程別原価をデータ化した事例紹介
- 生産管理・原価管理システム+BIツールで経営・現場が必要なデータが見える化する具体的方法
- 生産管理・原価管理システムの導入・活用で個別原価管理を安価で成功させるためのベンダー選び

講師

東洋ブレージング株式会社 代表取締役 伊藤 幹夫 氏
株式会社船井総合研究所 AI・ロボット・ERP支援部 ディレクター 西山 直生
株式会社船井総合研究所 AI・ロボット・ERP支援部 熊谷 俊作

受講料

一般価格 税込 **11,000円** (税抜10,000円) / 1名様 会員価格 税込 **8,800円** (税抜8,000円) / 1名様

●お支払いが、クレジットの場合はお申込み手続き完了後の案内(メール)をもって、セミナー受付とさせていただきます。銀行振込の場合はご入金確認後、お送りする案内(メール)をもって、セミナー受付とさせていただきます。●銀行振込の方は、税込金額でのお振込をお願いいたします。お振込みいただいたにも関わらずメールがお手元に届かない場合や、セミナー開催4日前までにお振込できない場合は、事前にご連絡ください。尚、ご入金金確認できない場合は、お申込みを取消させていただきます場合がございます。●会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長 online プレミアムプラン (旧: FUNAI メンバース Plus) へご入会中のお客様のお申込みにご利用となります。●ご参加を取り消される場合は、開催3日前まではマイページよりキャンセルをお願いいたします。それ以降は下記船井総研セミナー事務局宛にメールにてご連絡ください。尚、ご参加料金の50%を、当日の欠席は100%をキャンセル料として申し受けますのでご注意ください。

お申込みは
こちらから

PCの方はこちら

船井総研 112274 検索

※6桁の数字も含めて検索ください

<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/112274>

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

また、お問い合わせの際は「お問い合わせ No. とセミナータイトル」をお伝えください。【TEL】0120-964-000 (平日 9:30 ~ 17:30)

スマートフォンの方はこちら

右記の QR コードを
スマートフォン等で
読み取りいただき、
セミナーページより
お申込みください。



IoT・RFID活用 原価管理!

製品個別の実際の利益を 把握できていますか?

補助金を活用して
IoT・RFID・センサー・BIツールを使った
効率的な個別実際原価管理方法を解説

特別ゲスト講師

当社では、働きやすい環境をつくるために生産全体をリアルタイムでマネジメントできるような施策を構築しました。現場の紙帳票を無くすだけで年間24,000時間の削減が見込めます。

東洋ブレージング株式会社
代表取締役 伊藤 幹夫 氏



主催

自動車部品製造業のDXセミナー

お問い合わせNo.S112274



サステナブルな成長を促す。 Funai Soken

船井総研セミナー事務局

E-mail: seminar271@funaisoken.co.jp

株式会社船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル

※お問い合わせの際は「セミナータイトル・お問い合わせNo.お客様氏名」を明記の上ご連絡ください。

当社ホームページからお申込みいただけます。(船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右上検索窓に「お問い合わせNo.」を入力ください。→ 112274 Q)

IoT・RFID・センサー・BIツールの 材料費高騰・賃上げ対策 活用事例を紹介!

このようなお悩みはありませんか?

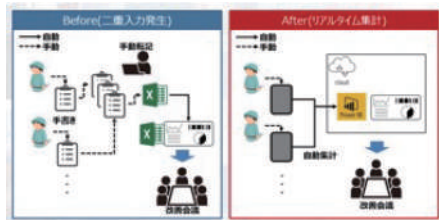
- ✓ 実際個別原価管理ができていない。
- ✓ 材料費・労務費・粗利が正確に把握できていない。
- ✓ 特に、実際工数が把握できていない。
- ✓ 手書き日報を運用しているが、労務費管理までできていない。

これらのデータが整理されていないので、
有意義な価格交渉ができない。

実際個別原価管理IoTを成功させる3ステップ

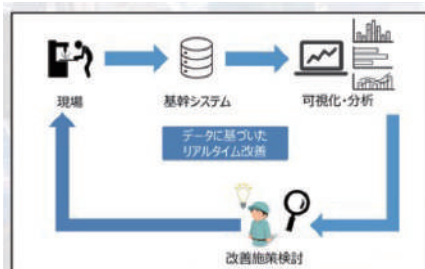
データ取得DX

「アナログ紙日報」
から
「リアルタイム日報」
へ



データ分析DX

「Excel・マクロ」
から
「BI」
へ



現場改善DX

「勘・経験による改善」
から
「データによる改善」
へ



IoT・RFID・センサー・BIツール活用事例

事例① <愛知県>

従業員30名の金属加工業が補助金×RFIDシステム導入により原価管理業務の生産性が向上!



事例② <京都府>

従業員30名の金属加工業が光センサーIoT&BI活用で設備別稼働率を可視化!
今まで見えなかった新たな指標の見える化に成功!



事例③ <岐阜県>

従業員30名の金属加工業がIoTセンサー活用して設備信号をデータ化!
稼働率のリアルタイム可視化!



事例④ <愛知県>

従業員100名の金属加工業がタブレットを活用して既存システムとの連携を実施!
BI可視化でモバイル経営を実現!



事例⑤ <滋賀県>

従業員170名の製造業がタブレットを活用して現場の完全ペーパーレス化を実現!
BIで生産進捗を可視化!



事例⑥ <広島県>

従業員12名の金属加工業が設備の軸の動きをIoT活用によりデータ化!
データ可視化によりリアルタイム経営を実現!



セミナーでは、実際の成功事例とともに、成功のためのポイントを徹底解説いたします! セミナー詳細は裏面へ!